



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流

コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼居 賢

問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理副担当 兼 経理部長 (氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	51,227	△2.1	2,066	3.0	1,949	△6.6	1,133	△4.6
2019年3月期第2四半期	52,304	1.1	2,006	△13.3	2,087	△8.2	1,188	△5.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 562百万円 (△32.1%) 2019年3月期第2四半期 827百万円 (△41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	32.08	32.00
2019年3月期第2四半期	33.66	33.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	77,037	50,496	59.0	1,284.62
2019年3月期	75,604	50,521	59.5	1,274.53

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 45,420百万円 2019年3月期 45,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	1.0	4,700	△0.5	4,600	△4.8	2,650	6.0	74.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）兆普電子（上海）有限公司、 除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	35,474,400株	2019年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	116,856株	2019年3月期	158,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	35,336,427株	2019年3月期2Q	35,312,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月～9月）の世界経済は、米国は底堅く推移しましたが、米中貿易摩擦の長期化に伴い、中国では輸出が減少し成長が鈍化しました。また、国内経済も輸出の低迷と内需の鈍化により弱い伸びとなり、全体的に減速感が継続しております。

このような事業環境下において、当社は中期基本方針を「進化する『最適物流』をより多くのお客様に」と定め、中期経営計画初年度の当期は、次の戦略・施策を推進し、グローバルにビジネスの拡大を図ってまいります。

①G T B（Get The Business / 市場と商品の拡大）：HUB拠点の整備とネットワークの充実。車載向け事業体制の確立。

②G T P（Get The Profit / 間・直の生産性向上）：自動化とTIEの導入による改善の進化。戦略投資の拡大と確実な刈り取り。

③G T C（Get The Confidence / 選ばれる会社）：桁違い品質の実現。CSR体制の強化と活動の充実。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高51,227百万円(前年同期比 2.1%減)、営業利益2,066百万円(同 3.0%増)、経常利益1,949百万円(同 6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,133百万円(同 4.6%減)となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、スマートフォン、自動車、産業用機器などの市況の悪化を受けて、上半期は荷動きが低調に推移しました。一方で中長期的には、5G（次世代通信規格）、IoT、自動車の電子化など、次世代技術の進展により今後の電子部品の需要拡大が見込まれております。

当社グループでは、中長期的に電子部品の需要拡大が見込まれる地域を中心に、新たにHUB拠点の整備とネットワークの充実を進め、新規取扱貨物量の拡大を図っております。アセアン、南アジア地域においては、7月にはタイで大型の新倉庫を竣工、営業を開始しました。欧州では、東欧展開の足掛かりとしてハンガリーに事務所を開設しました。更に、これまで拡充した拠点の充実を図ると共に、安定稼働と生産性向上に取り組んでおります。

また、車載関連物流強化策の一つとして、㈱ロジコム社と合弁会社を設立、海外での車載関連ビジネスの拡大を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、海外の外販向けで売上高を伸ばしましたが、主に国内でグループ向けの売上高などが減少し、減益となりました。

当セグメントの売上高は25,965百万円(前年同期比 0.5%減)、営業利益は1,408百万円(同 6.5%減)となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネス、物流改善を意識した包装資材の提案営業を進めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、スマートフォンや車載関連の需要減に伴い売上高が減少しました。

当セグメントの売上高は12,748百万円(前年同期比 10.3%減)、営業利益は309百万円(同 11.7%減)となりました。

③消費物流事業

消費物流分野では、小売企業の宅配サービスや通信販売ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境において、当社グループで消費物流を担う㈱流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、生協関係の宅配及び化粧品関係の商品センター業務の拡販により増収増益を確保することができました。

当セグメントの売上高は12,513百万円(前年同期比 4.4%増)、営業利益は348百万円(同 133.0%増)となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

前連結会計年度末と比較した当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産が売上高の減少に伴い売掛金や商品在庫などが減少し、775百万円減少しました。固定資産は、中国での中古倉庫取得や倉庫リース資産の計上などにより2,208百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比1,432百万円増の77,037百万円となりました。

負債については、リース債務の計上などによって694百万円増加しました。また、固定負債も同様にリース債務の計上などにより763百万円増加し、負債合計は、前連結会計年度末比1,458百万円増の26,540百万円となりました。

純資産については、利益の確保に対し、当社の配当金支払い、子会社における外部株主への配当金支払い、当第2四半期末の円高進行による為替換算調整勘定の減少などによって、前連結会計年度末比25百万円減の50,496百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比0.5ポイント低下の59.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末の残高は、前連結会計年度末と比べ20百万円増加し、15,190百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、税金等調整前四半期純利益1,951百万円等により3,466百万円（前年同期比1,859百万円の収入増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は2,352百万円（前年同期比625百万円の支出減）となりました。主な支出内容は、中国において台湾系企業の兆普電子の持分を取得して子会社化したことや、生産性向上のための有形・無形固定資産の取得です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は1,409百万円（前年同期比350百万円の支出増）となりました。主な支出は、配当金支払い317百万円、子会社での外部株主への配当支払い340百万円、リース債務の支払いなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日付「2019年3月期決算短信」で開示した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,979	16,039
受取手形及び営業未収金	16,541	16,362
商品	1,694	1,520
その他	2,715	2,231
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	36,909	36,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,261	11,688
土地	16,765	16,760
その他(純額)	4,603	6,151
有形固定資産合計	32,629	34,600
無形固定資産		
その他	3,012	3,283
無形固定資産合計	3,012	3,283
投資その他の資産		
投資有価証券	293	321
その他	2,760	2,698
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,052	3,018
固定資産合計	38,694	40,903
資産合計	75,604	77,037
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,598	10,828
短期借入金	2,107	2,006
未払法人税等	860	661
賞与引当金	1,640	1,812
役員賞与引当金	—	25
その他	3,763	4,330
流動負債合計	18,969	19,664
固定負債		
長期借入金	900	900
役員退職慰労引当金	58	58
退職給付に係る負債	2,240	2,301
その他	2,914	3,616
固定負債合計	6,112	6,876
負債合計	25,082	26,540

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	1,930	1,945
利益剰余金	40,548	41,375
自己株式	△110	△81
株主資本合計	44,717	45,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	76
為替換算調整勘定	395	△99
退職給付に係る調整累計額	△158	△145
その他の包括利益累計額合計	293	△167
新株予約権	66	53
非支配株主持分	5,444	5,021
純資産合計	50,521	50,496
負債純資産合計	75,604	77,037

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	52,304	51,227
売上原価	46,978	45,809
売上総利益	5,326	5,417
販売費及び一般管理費	3,319	3,351
営業利益	2,006	2,066
営業外収益		
受取利息	28	31
受取配当金	5	3
為替差益	163	15
その他	63	68
営業外収益合計	261	119
営業外費用		
支払利息	63	129
支払手数料	88	54
その他	28	53
営業外費用合計	180	236
経常利益	2,087	1,949
特別利益		
固定資産売却益	2	5
受取保険金	7	—
その他	—	0
特別利益合計	9	5
特別損失		
固定資産除売却損	7	3
その他	1	0
特別損失合計	8	3
税金等調整前四半期純利益	2,088	1,951
法人税、住民税及び事業税	812	657
法人税等調整額	△97	△59
法人税等合計	715	597
四半期純利益	1,373	1,353
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188	1,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	184	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	19
為替換算調整勘定	△594	△824
退職給付に係る調整額	9	14
その他の包括利益合計	△545	△791
四半期包括利益	827	562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	779	569
非支配株主に係る四半期包括利益	48	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,088	1,951
減価償却費	1,101	1,461
売上債権の増減額(△は増加)	△109	△812
たな卸資産の増減額(△は増加)	39	164
仕入債務の増減額(△は減少)	△72	586
その他の負債の増減額(△は減少)	△458	28
その他	△221	934
小計	2,366	4,313
利息及び配当金の受取額	33	35
利息の支払額	△59	△127
法人税等の支払額	△733	△756
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606	3,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,956	△716
有形固定資産の売却による収入	6	11
無形固定資産の取得による支出	△692	△631
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	—	△1,046
その他	△335	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,978	△2,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△115	△98
非支配株主からの払込みによる収入	—	80
配当金の支払額	△317	△317
非支配株主への配当金の支払額	△395	△340
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△204
その他	△230	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,059	△1,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△233	△461
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,664	△757
現金及び現金同等物の期首残高	18,054	15,170
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	778
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,390	15,190

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったALPS LOGISTICS HONG KONG LTD.、ALPS LOGISTICS (S) PTE. LTD.、ALPS NAIGAI LOGISTICS (MALAYSIA) SDN. BHD.、TIANJIN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (GUANGDONG) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (USA), INC.、DALIAN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、SHANGHAI ALPS LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO, S. A. DE C. V.、ALPS LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS TAIWAN CO., LTD.、ALPS LOGISTICS KOREA CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (CHONGQING) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS EUROPE GmbH、ALPS LOGISTICS VIETNAM CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO EXPRESS, S. A. DE C. V.、TEDA ALPS LOGISTICS SHANGHAI CO., LTD.は同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報の把握及び四半期連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,102	14,211	11,990	52,304	—	52,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,102	14,211	11,990	52,304	—	52,304
セグメント利益	1,506	350	149	2,006	—	2,006

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,965	12,748	12,513	51,227	—	51,227
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,965	12,748	12,513	51,227	—	51,227
セグメント利益	1,408	309	348	2,066	—	2,066

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。